飢餓対策ニュース　第319号　発行日2017年1月20日（毎月20日発行）定価15円

日本国際飢餓対策機構（Japan International Food for the Hungry：略してJIFH）は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体（NGO）です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、人財育成、海外スタッフ派遣、飢餓啓発などに活動を広げてきました。現在は、国際飢餓対策機構連合（Food for the Hungry International Federation）の一員として、20ヵ国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころとからだの飢餓」に応える活動をしています。

T-POINT

★Tポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに301456ポイント（円）のご協力（3053件）がありました。募金はTポイント募金で検索

寄付金付きのチョコレートセット
プレゼント用にもいかがですか

季節限定販売品のフェアトレードチョコレートを4種類セット（味はおまかせ）を送料・税込2,000円でお届けします。1セットにつき80円がJIFHの支援活動に募金されます。

プレゼントとして送られる方には簡易ラッピングでお届しますのでお申込み時にお知らせください。なお、チョコレートが無くなり次第終了させていただきます。

【問合せ】キングダムビジネス
〒540-0026　大阪市中央区内本町1-4-12NPOビル402
TEL :06-6755-4877　FAX :06-6755-4888
メール : customer@kbwin-win.org
Web : キングダムビジネスで検索。

● 書き損じ「はがき」で国際協力を

各事務所では、未投函のはがきを換金して海外スタッフ支援のために用いています。㊟切手を貼る私製はがきは不可。

【2016年集計】
はがき：160,534円分の切手に換金。
未使用切手：298,463円分。
国内外の送料軽減に貢献しています。

JIFH海外サマーキャンプを開催！

8月中旬にボリビアで開催いたします。案内を希望される方は、メール又は電話で東京事務所までお気軽にお問合わせください。
問い合わせ：電話03（3518）0781
eメール：jifhtokyo@gmail.com

Child Supporter チャイルドサポーター

チャイルドサポーターお申込用紙

今すぐ▶▶▶支援のお申し込みができます!!

●まず右の必要事項に記入して、点線の枠部分を切り取りハガキに貼って、下記の大阪事務所宛に郵送、又はこの頁をコピーして、ファクシミリで申し込みください。
お電話でも申し込みできます。事務局直通電話 072-920-2226までおかけ下さい。

チャイルドサポーター申込書

フリガナ
氏　名（グループの代表者名）　　［男・女］

所属団体名（グループ支援の場合）

フリガナ
住　所　　〒

電話　　e-mail

支援方法（☑ご希望の方法をお選びください）

☐ 郵便振込（ATM80円～）　☐ 郵貯自動振替（手数料25円）　☐ 銀行自動振替（手数料100円）
※クレジットカードからの申込はwebよりお願い致します。

☐ 子どもを支援します。
月額1人4,000円

____人 紹介してください。
国の希望
第1希望 _____
第2希望 _____
※ご記入がない場合は「指定なし」といたします。
性別の希望　［男・女・どちらでも］※○で囲む
子どもからの手紙は日本語への翻訳が［必要・不要］※○で囲む

☐ 活動を支援します。
月額1口1,000円を____口申し込みます。

今回のみの募金は郵便振替00170-9-68590まで通信欄に必ず「チャイルドサポーター」と明記下さい。

FAX・072-920-2155

■発行者　岩橋竜介
■発行所　一般財団法人　日本国際飢餓対策機構

ハンガーゼロで検索！
Webサイトアドレス　http://www.jifh.org/
eメールアドレス　general@jifh.org
フェイスブック　https://www.facebook.com/hungerzero

■募金方法　※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウエブサイトで
●郵便振替　00170-9-68590／日本国際飢餓対策機構
●他の金融機関からの自動振替●クレジット、デジタルコンビニ

今すぐ募金ができます！　銀行からの自動振替　クレジットカード決済　コンビニ収納で現金振込　かざして募金

大　阪　〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1
TEL (072)920-2225　FAX (072)920-2155
東　京　〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室
TEL (03)3518-0781　FAX (03)3518-0782
東　北　〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-13-6エマオ2階E
TEL (022)217-4611　FAX (022)217-6651
愛　知　〒460-0012 名古屋市中区千代田2-19-16 千代田ビル3F
TEL (052)265-7101　FAX (052)265-7132
広　島　〒730-0036 広島市中区袋町4-8 CLCブックス2F
TEL (082)546-9036　FAX (082)546-9037
沖　縄　〒900-0033 那覇市久米2-25-8　メゾン久米202号
TEL (098)943-9215　FAX (098)943-9216
ＵＳＡ　Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605
TEL(510)568-4939　FAX(510)293-0940

毎月、飢餓対策ニュースを皆様にお届けするために、ひばり障害者作業所（八尾市）、生活愛、関西地区のボランティアの皆様が発送作業の協力をして下さっています。

「かざして募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル（株）経由となります。詳しくはウエブサイトをご覧ください。

1分間に17人（内12人が子ども）
1日に2万5,000人
1年間では約1,000万人が
飢えのために生命を失っています。

一般財団法人 日本国際飢餓対策機構
2017 2 No.319

飢餓対策ニュース

わたしから始める、世界が変わる

わたしから始める、世界が変わる
地域変革の鍵、人財育成…SALTYとLIGHTSの生き方①

日本国際飢餓対策機構　啓発総主事　田村治郎

2012年にアフリカ・ニジェールで、翌2013年にはコンゴ民主共和国で、人財育成セミナーを開催しました。そこには地域変革を願うコミュニティリーダーや牧師、また多くのビジネスマンが集い熱心な学びの時となりました。

コミュニティが直面するあらゆる全人的課題（霊的・肉体的・精神的・社会的）にしっかりと向き合うことは、そこに住む自分たちが解決するべき課題なんだ、と「誰かが」から「私たちが、私が」へと意識の改革がなされてゆきました。このようなセミナーの成功の鍵は、講義内容もさることながら受講者の強い意欲にあるのだと痛感しました。なんとしても自分たちのコミュニティを自分たちの手で変革してゆくんだとの意欲は、受講者たちの力となって相互の励ましを生んでいました。

もうひとつの成功の鍵は、学んだことをいかに実践するかということです。良い学びでしたと終わってはならない。それらを自分たちのコミュニティに当てはめ実践してゆくのです。

開講したそれぞれの地域でその機会が訪れました。ニジェールでは同年8月に大洪水がいくつかのコミュニティを襲い、人々は生活基盤に大きな打撃を受けました。まさに今痛みの中に必要を覚える人々に仕えてゆく時として、受講者自らも被害を受けながらも協力の輪を広げて援助する者として働いたのです。またコンゴ民主共和国でのセミナーには、内戦により国内避難民となったパメラさんが出席し学びました。そして、人は遭遇する環境や状況によって生き方が決まるのでなく、困難の中にあっても立ち上がり変革することができるんだと発奮し、家族を虐殺され絶望の中にいる避難民に、「すべてを失ったような私たちにもできることがある！」と避難地での自立に踏み出すことができました。

このように誰かの助けを待つ、誰かの行動を願うだけでなく、「わたしから始める」と具体的な一歩を踏み出すことができたのは、必要な意識の変革を学ぶことができたからです。それが、「SALTYとLIGHTSの生き方」です。その内容を次回から2回に分けてご紹介します。それは、彼の地の出来事だけでなく、ここに生き、ここに遣わされている私たちにも「わたしから始める、世界が変わる」一歩を促すものとなるはずです。

「暗いと不平を言うよりも、あなたが進んで明かりをつけなさい」マザー・テレサ

写真・子どもクラブでごみの分別を学んで実践（カンボジア P.6）

「地球温暖化」と「食べ物を捨てること」

干ばつの影響で作物が成長しない畑

分かち合えない地球の恵み

地球温暖化というと、北極の氷が溶けていくことや車や工場から出される排気ガスをイメージする人が多いと思います。そのことと私たちが賞味期限切れなどで食べ物を捨てることとどのようにつながっているのでしょうか。

地球温暖化による異常気象といわれる猛暑や暖冬、それに強い台風が頻繁に発生するのは、私たちにとって身近な現象になっています。またそれによって起こる洪水や干ばつなどが農業に大きな影響を及ぼして食料生産が減少し、食料不足が世界のあちこちで起こっていることも報じられています。

絵・みなみななみ

ロスも廃棄も４割の現実

ところが世界の食料のおよそ3分の1が、捨てられていることはあまり知られていません。

先進国で６億7,000万トン、開発途上国でも６億3,000万トン、ただし捨てる意味合いは先進国と途上国では違います。

生産や収穫、加工などの過程で失われてしまうものを食料ロスと言っていますが、主にこのロスの４割以上が、開発途上国の収穫後と加工段階で起こっています。収穫した穀物を安全に保管する設備がなかったり、輸送用の道路の整備が進んでいないために運搬に時間が掛かり傷んで捨ててしまったりしているのです。

一方、先進国では小売りと消費者の段階で発生している食品廃棄が、開発途上国と同じ４割あり大きな問題となっています。それには消費者の厳しい基準に満たない食べ物の廃棄、レストランや家庭での食べ残し、また賞味期限切れによる廃棄などがあります。

食料ロス・廃棄は、その食料を生産するために利用した資源（土地、水、エネルギーなど）を無駄にすることになります。食べ物を生産するための農業活動の中で温室効果ガスを排出している上に、そうして生産された食べ物を捨てる際にも排出の機会を与えてしまっているのです。

日本人一人が1日に出す食べ残しは茶碗１杯分といわれています。少ないと感じるかも知れませんが１年間では？そして買い過ぎや賞味期限切れなどで捨てているのは？

「食べる」を見直すことから

世界では約7億9,500万人、9人に１人が栄養不足の状態にある中、私たちは食べ物を捨てて地球温暖化に加担するのではなく、貴重な資源を使って生産された食べ物を無駄にすることなく、地球の未来を持続可能にすることに寄与したいものです。

食料を育む自然や生産する人を尊重し、本当に必要なだけの食べ物を手に入れて食べるようにしましょう。そして世界で食料が十分手に入らなくて苦しむ人々のために、出来る事を一緒に始めませんか。

参考：FAO(国連食糧農業機関)レポート

『世界里親会』から『チャイルドサポーター』に

Child Supporter
チャイルドサポーター

1987年に始まった『世界里親会』はこれまで10ヵ国において、1万人以上の子どもたちに教育支援を行ってきました。学校での読み書きや職業訓練など、学ぶ機会を通して飢餓・貧困の悪循環を断ち切り、希望に満ちた生活を生み出すことを願い続けてきました。今も多くの賛同者が与えられていることを感謝します。

当機構では1人のサポーターまたはグループでの1人の子どもの支援と交流を通して、現地パートナーの活動およびそれによる子どもの変化、成長をお伝えしています。現地パートナーと共にこれまで行なってきた活動から、子どもの家族とその背後にある地域社会すなわち子どもを取り巻く環境全体がより良くなることが、貧困の根本的な解決策であることを学んできました。

その結果「子どもが学校に行けるように」というゴールを「子どもを取り巻く環境改善を通して、健やかな成長を支援する」という、より広範囲なものに改めて捉え直し、将来を担う子どもたちの土台である地域社会の変革・貧困脱却に向けての活動を行っています。

子どもから大人まで「地域ぐるみ」で地域全体の変革に向けて行われている活動の現状と、支援者の皆さまの関わりをふさわしく表現するため、養育を想起させる「里親」という言葉から、応援を意味する「サポーター」を用いることになり、本制度の名称を「世界里親会」から『チャイルドサポーター』へ変更いたしました。

2017年1月から新しい目標と名称をもって活動しております。ご不明点・ご意見は何なりとご連絡ください。わかりやすい活動を目指して職員一同、より一層尽力する次第です。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

チャイルドサポーター事務局
電話 072-920-2226（直通）

子どもたちを取り巻く地域の変革

報告：パートナー団体　国際飢餓対策機構（FH=Food for the Hungry）

ボリビア

リーダーの気づきが家族の励ましに

【アサワニ地域】

昨年の一番の恵みは各地区のリーダーたちが、子どもたちには大きな可能性がありそれを最大限に伸ばすべき存在であることに気づいたことです。地区のリーダーたちがチャイルドサポーターの活動に強い関心を持つことによって、家庭訪問などの活動がスムーズに行われ、家族との関係をより良いものにすることができます。その結果家族にも良い影響を与えています。

タイル地区に住むユアン・ゴドイー家からは２人の娘、エルリンダとリディアがチャイルドサポーターの支援を受けています。父親のユアンは「FHが来るまでは子どもたちの教育のことなど考えもしていなかった。今の私の夢は子どもたちが高校を卒業して仕事に就くこと。そのために私は魚の養殖をし、食用モルモットを育てている。以前はジャガイモしか食べていなかったけれど、他の野菜やモルモットと魚を食べて栄養が取れるようになった。支援者の皆さんやFHから教わったことの全てに感謝だよ。」と言います。

【リオカイネ地域】

スクスマ地区では日本から派遣されている小西小百合が、地域の人たちと良い関係をもち、人々の健康改善のためにリーダーシップを発揮しています。その結果、健康と生産物の催しが注目を受け地域の人たちが大勢参加しました。

ウガンダ

学校を中心に変わり始めた村

【ナムトゥンバ地区】

FHウガンダは2013年からマガダ村のカサーレ小学校とイジランゴビ村のカイチ小学校を中心に活動をしています。カサーレ小学校は、木の下で勉強していた子どもたちが新校舎で学べるようになった事もあり、400人の出席が514人に増加しました。カイチ小学校では、提供されたトウモロコシの種40kgと豆20kgを学校菜園で栽培して、700kgのトウモロコシ、80kgの豆を収穫。900人の生徒に給食として提供しました。

教育

カサーレ・カイチ両校では、学年末試験の自己負担金の支払いができない子どもたちのために、不足分を助成しました。また支援を受けることで職業訓練校に13人、高校へ29人が進学して学んでいます。支援が一つの機会となり親子とも教育に積極的になってきています。

リーダー訓練

地域のリーダーの協力で、活動の単位となる12人ほどの小グループがいくつか作られました。その中でボランティアとして228人がFHの訓練を受けることになりました。

保健

センターへの医療器材などの提供によって救急処置や家族計画の指導、保健スタッフの能力の向上が図られました。また思春期の女子に正しい衛生知識を身につけてもらうと共に、生理の対処方法の指導も行われました。身の回りの材料で布ナプキンを手作りする方法を教えたところ、ナプキンの着用で学校の出席率が向上しました。

貯蓄グループ

新たに20グループができ、600人が貯蓄をすることはどういう事なのかを知ることができました。また35グループから合計1050人が訓練を受けました。そして小規模の商売を始めた300人が家計の改善をすることができています。

フィリピン

生活改善への意識が向上

【ビコール地域：マトノグ・スラ地区】

貯蓄グループ

マトノグ地区では３つの貯蓄グループ（写真右㊤）が結成され、半年で約17万円を貯蓄できました。メンバーから『緊急の時にはこの貯蓄を利用することができるから心配が減りました』という声が聞かれました。

価値観の学び

FHはパートナー教会が行うプログラムを積極的に応援しています。保護者には、保護者が担う責任や、子どもたちが保護者から受ける影響などを学び、子どもたちは自信を養うこと、技術を身につけること、音楽や絵画などの才能を開花させることを目指しています。

地域の子どもたちを学校に送るために、“ホープ（希望）キット”という文具セット（リュックサック、ノート、はさみ、ボールペン、鉛筆など）を配布しました。

保健

スラ地区では半年に３回シリーズで母乳育児に関するレッスンが行われ、70人近い婦人が集まって正しい知識を学びました。続く急性呼吸器感染症（かぜの諸症状）についての学びにも12の小グループが参加を表明、変化を求めて一歩前に進もうとする気持ちが伺えます。

学校菜園で収穫したレタス（ボリビア）

給食の様子（ウガンダ）

価値観の学び（フィリピン）

カンボジア
学習の価値がよく分かった

【スバイルー地区】

FHは2014年からこの地区で活動しています。村長のハイ・ヒアさんは、「FHは村に貯蓄グループを勧めてくれました。また健康・農業ボランティアを育ててくれて知識や技術を身につけることができました。今私の村の人たちは愛を持って、互いに良い関係の中で支えあっています。FHには村の成長を大いに助けてもらって感謝しています」と言っています。

教育

子どもクラブで300人がFHから環境保全、特にごみの分別について学びました。（※表紙に子どもたちの写真）スタッフが支援を受けている子どもの家庭訪問をして、教育の価値の理解を深め、手洗いや爪切りを習慣化できるよう励ましています。

生計

貯蓄グループでは毎月ミーティングを持ち、貸付や返済などのお金の動きを把握したり、貯蓄額をまとめたりすることを勧めています。

●ヘン・サンバンさん（15歳）

トークリック学校8年生ですが、トレーニングを受けてボランティア先生をしています。「FHがこの村に来て学習の価値がはっきり分かったので、活動にはなるべく参加しています。なぜならトレーニングを通して将来の計画をしっかりと持つようになったからです。村の子どもたちには知識をつけてもらいたいし、全員に読み書きができるようになって欲しいです。」

収入向上の取り組み（カンボジア）

バングラデシュ
地域ぐるみで貧困からの脱却を

【マチュパラ地区】

この地域は歴史的にずっと貧しさが根付いていて、人々は常に経済的な危機状態にあります。自分の土地を持てないので他人の畑で作物を栽培し、他にも収入を得るために日雇い小作人としても働かざるを得ない状況です。

FHは2012年からこの地区に関わりを持ち、2013年からチャイルドサポーターが始まりました。310人の子どもが登録されていますが、そのうち183人にサポーターが与えられ、127人がサポーターとの出会いを心待ちにしています。スタッフは頻繁に子どもや家族と関わり、健康状態や学校の出席率の確認、価値観の学びや授業の補習、クリスマス会などの行事の運営を行っています。

貯蓄グループ

メンバーは週に一度10～20タカ(15～30円) を持ち寄って集まります。また健康、母と子のケア、人権、法律などテーマごとに学びます。

この地域では女子の早婚、子どもの労働、家族の不定住、マドラサと呼ばれる宗教教育の影響なども、地域変革の壁になっていますが、住民をはじめリーダーや地元行政を巻き込んでの変革に取り組んでいます。

自習する子ども（バングラデシュ）

めぐみレター チャイルドサポーターさんの広場

神様が授けてくださったわが子ファン

有井慰作・典子（和歌山シオン教会牧師・伝道師）
ありいいさく・みちこ

私たちが支援させていただいているボリビア在住の青年の名は「ファン」、現在、17歳です。

2011年世界食料デー東大阪大会において、出会いが与えられました。当時私たちは、結婚して満6年になろうとしていました。実子が与えられず、そのことは何かにつけて私の心を掻き乱し、現実を受け止めることができないままでした。「神様、大丈夫そうなフリをしていますが、心を自制することはできません。ここから解放されて前に進みたいです！」と祈り求めていました。

食料デー大会直後に思い切ってチャイルドサポーターに申し込みました。ある日、事務局から「きずなノート」が届きました。私は驚愕しました。その表紙には目鼻立ちのしっかりした12歳の少年がじっとこちらを向いて写っていたからです。《わたしの目に、あなたは高価で尊い。わたしは、あなたを愛している》という聖書の言葉が添えられていました。私は自分の愚かさに気づかされました。子どもは神様が授けて下さるのであって、私たちが身勝手に選ぶことはできません。恥じ入ることに「支援させていただく子どもを自分たちで選ぶことができる。可愛らしい女の子にしよう」と決めていたのです。自分の無知を心から悔い改めて、神様にお詫びしました。

思いがけない病、しかし…

ところが支援を決めた数週間の内に私は思いがけない病を発症し、生活スタイルが一変しました。「心身が痛む不安定な状態で、経済的にも支援をスタートできるのだろうか？」と頭を抱えました。しかし「私たちがどのような状態にあっても、神様が約束されているのだから信頼しよう！」と祈って前に進むことができました。種蒔く人には種を与え、食べる人には糧を与える神様が、今日に至るまで支援を継続させて下さっています。

この5年間を振り返る時、ファンくんの成長が私たちの大きな喜びとなっていることを覚えます。特にクリスマスカードを目にするたびに、神様がファンくんを成長させて下さっていることを教えられます。初めてのカードには、高くそびえる茶色の山々や水汲みの仕事に励む姿が描かれていました。ある年、そこにサッカーボールで遊ぶファンくんと友人が向き合って登場。そして、昨年のカードには、「ぼくはとても幸せです」と記されていました。私たちは「子の幸せを常に願い続ける親」の思いを胸にしたかのようでした。私の心を癒し立ち上がらせて下さった神様に心から感謝しています。

Child Supporter チャイルドサポーター 2つの支援方法

子どもを支援する

支援地域の特定の子どもとつながり、
その地域で行われる活動を支援いただきます。
あなたと出会い、応援を受ける子どもは自分が愛される
大切な存在であることに希望を抱き、
地域を変えるひとりへと成長していきます。

月々4,000円
子ども1人を支援することできます。

活動を支援する

子どもたちが暮らす地域で行われる
様々な活動を支援いただきます。
地域に住む人々がそれぞれの役割を果たし、
子どもを取り巻く環境の改善と
質の向上を目指します。

1,000円～
月々または自由なタイミングで支援できます。

支援のお申込は、ウエブサイト又はお電話でチャイルドサポーター事務局へ
https://child.jifh.org 直通 072-920-2226

専用HP公開！
詳細はウェブサイトで